

平成 29 年度 県立厚木北高等学校不祥事ゼロプログラム

<p>県立厚木北高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり平成 29 年度の不祥事ゼロプログラムを定める。</p>		
<p>実施責任者 厚木北高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は校長、副校長及び教頭を補佐し、事務長を補助する。</p>		
課題	目標	行動計画
① 法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	○法令を遵守し、公私の別を明らかにして、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	○教育公務員の立場を常に自覚して生徒・保護者に対して職責を果たすプロ意識の強化を図る。 ○法令遵守意識の向上を図る。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	○わいせつ・セクハラ行為の発生を未然に防止する。	○校内人権相談窓口の活用を図る。 ○携帯電話や電子メール等による不適切な連絡行為防止の徹底を図る。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施する。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努める。
③ 体罰、不適切な指導の防止	○生徒への体罰や不適切な指導を防止する。	○教員・保護者の連絡を密にし、情報を共有する。 ○生徒指導等の指導状況は常に記録する。 ○生徒への指導は記録を残す。 ○電子メールの不適切な使用を行わない。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施する。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努める。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	○テスト作問における整合性の確認と採点処理、答案返却等を確実に実施する。 ○調査書・通知表等の作成に係る事故ゼロの徹底。	○作問チェックマニュアルに基づき複数体制で作問、解答用紙を確認する。 ○採点後の答案返却時に欠席等の生徒の解答用紙の保管を徹底し、確実に本人に返却する。 ○調査書発行マニュアルに基づき、チェック体制を明確にして調査書等発行手続きを行う。
⑤ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	○個人情報の流出を未然に防止する ○外部記憶媒体の紛失等の防止 ○インターネットの適正利用を図る。	○鍵のかかる場所に保管し定期的にチェックする。 ○保管期間の終了を複数で確認の上、廃棄する。 ○個人情報持ち出し手続の励行を徹底する。(携帯電話等への登録も同様とする。) ○私物のUSBメモリの持ち込み禁止、貸し出しUSBメモリの管理を徹底する。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施する。 ○定期的にチェックを行い、啓発に努める。
⑥ 交通事故防止、	○交通事故の発生を	○「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」

酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	未然に防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	等の注意を徹底する。 ○所属教職員全員を対象にした職場研修を実施する。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努める。
⑦業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○業務遂行の無理をなくし、適正な業務遂行環境を確立する。	○日常の書類整理に努める。 ○文書保管キャビネットへの保管を徹底する。 ○起案・決裁等を確実に行う。 ○危機管理意識を喚起し、不祥事の未然防止を徹底する。 ○ある時期に過大に業務が集中していないか点検し、過大な場合は適正化を図る。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施する。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努める。
⑧会計事務等の適正執行	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理を防止する。 ○不適切な現金取扱を防止する。	○備品の現物照合を確実にを行う。 ○会計事務等の適正執行の徹底を図る。 ○私費会計基準に則った会計処理の徹底を図る。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施する。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努める。
検証及び評価 不祥事防止所属長点検および職員各自の自己点検により検証を行う。 検証の結果、新たな目標設定（各目標の修正を含む。）が必要な場合は、新たな目標設定を行ったうえで、平成30年度における県立厚木北高等学校不祥事ゼロプログラムを策定する。		
実施結果 検証を踏まえ「実施結果」を取りまとめるうえ、教育局行政課の求めに応じ、本校ホームページで公表する。		
事務局 プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故防止会議がこれを行う。		